

年頭のご挨拶

新年 明けましておめでとうございます。

昨年につきましては、賛助会員の皆様、動産評価アドバイザーの皆様をはじめ、多くの関係各位の皆様にご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

ここに心より厚く御礼申し上げます。

昨年は2月5日に金融庁から発信された「ABLの積極的活用について」に始まり、その後の検査マニュアルの改定や、中小・地域金融機関向け監督方針他数回に亘り公表され、ABLへの関心が高まった一年となりました。

日本動産鑑定と致しましても「ABLトータルサポートプラン」を発表させて頂き、ABLの態勢整備、ABLの内部規程、ABL普及の為の勉強会等、積極的に全国金融機関を中心に取り組んで参りました。

その結果、態勢整備については、動産評価アドバイザー認定取得者が累計で369名誕生し、通信講座については申込み者が累計で約3,000名となり、今年の5月25日には新設の検定試験が行われ、合格者には「ABL・動産評価アシスタント・アドバイザー」を認定する予定です。

又、昨年末(12月26日)に完成した小冊子「これでわかるABL」を新年(1月10日)より発売ができることとなりました。販売価格も1冊1,000円(税別)と手頃の価格に設定させていただきましたので、全国の金融機関の皆様を初め、中小企業の皆様もお手元に1冊置いていただきご活用いただきますよう、よろしくお願ひ致します。内部規程につきましてはABLの推進に併せてご相談いただければ幸いです。

又、ABLの勉強会についてもお気軽にご相談下さい。(昨年開催45回)

今年は「経営者保証に関するガイドライン」が2月1日より適用となる事から予想しても、ABLの取扱いは間違いなく加速するものと思われます。

又、ABL取扱いの保全策としてABL総合補償プラン(物流総合保険・取引信用保険)を

株式会社 損害保険ジャパン様と当法人の関係会社である株式会社 KK・エージェンシーとで昨年末開発致しましたが、この損害保険が今後のABL推進に大きく寄与するものと思われます。

従いまして平成26年はABLを取り扱う関係者の「飛躍の年」と位置付けたいと考えております。

どうぞ本年も賛助会員の皆様、動産評価アドバイザーの皆様、そして関係各位の皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

特定非営利活動法人 日本動産鑑定
理事長 久保田 清